

アマチュア 『疑心暗鬼』

プロとアマチュアの違いは、
自然を見方に付けたか、敵にまわしたか。



バリューゴルフ
VALUE GOLF
www.valuegolf.co.jp

ウイルスと健康

新型コロナウイルスの影響が、あれよあれよという間に世界中に広がった。ゴルフは、ラグビーやサッカー、ボクシングのように、選手同士が接触する競技ではないので、まさかトーナメントの中止や無観客試合、果ては100年以上の歴史を持つ全英オープンなどのメジャーが中止になるとは、困ったものだと思っている。一方で、フィッティングやヨット、またスキーなどの非接触型のスポーツもほとんど試合中止や大会の中止を余儀なくされている。整理してみると、スポーツは選手同士が接触するスポーツ（球技などはほとんどこれに属するが）、選手同士が接触しないスポーツに分けられる。そして、それぞれのスポーツがグローバル化の中で、国際的な商品となり、だからこそ、観客がなくては成立しない。このウイルスがいつ収まるかわくちん次第であるが、いずれにしても、今後、このような感染パニックが起こることを前提に考えなくてはならない時代になったのだと思う。

6月11日から米国男子ゴルフツアーが再開し、18日からの再開第2戦には久しぶりに松山英樹選手が登場した。フロリダ州の自宅から、キャディと2人で500キロ以上をドライブして現地入り。翌日は、朝から9ホールまわり、その後、ショットや小技の調整をして本番に臨んだ。

「ゴルフがこうやってできるので、感謝しながら頑張りたい」と表情を引き締めていた。日本国内男子ゴルフ

ツアーを統括する日本ゴルフツアー機構は、臨時総会で今年と来年のシーズンを統合することを決めた。さらに、1月のシンガポールの試合以来、中止が続き、試合数が減ったため、賞金王も決めず、年間表彰式なども行わず、来年の最終戦までを1シーズンにする、と発表した。一方、日本女子プロゴルフ協会は、6月下旬のアース・モンタミんカップで今シーズンを開幕したが、それ以降詳細のスケジュールが未定となっている。

スポーツというものは健康の象徴で、それを職業とする選手たちは、一般人の人よりは頑健で、免疫力が強い。つまり、ウイルスなどの感染症に負けてはならない立場にいる。さらに、スポーツを通して、いかに健康が素晴らしいかを、今こそ強くアピールする職業的責任もあるように思う。

普段、何気なく考えられていたスポーツと健康という当たり前のことを、今更改めて強く感じる今日この頃である。



戸張 捷 Sho Tobari

1945年、東京生まれ。高校からゴルフを始め、3年で全日本ジュニア3位、大学4年で日本アマ9位。住友ゴム工業（現SRIスポーツ）に入社後、株式会社ダンロップスポーツエンタープライズへ出向。トーナメントディレクター、プロデューサーとして日本ゴルフ界に貢献した。現在は、ゴルフキャスターとして活躍するほか、ゴルフトーナメントやイベントのプロデューサー、コンサルティングなども手掛けている。